

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名
4 姉妹都市交流事業（ペイカースフィールド市、リッチモンド市、済州市との交流）

[事業基本情報]

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	4	国内外交流の推進
施策	1	国内外交流の推進
基本方針	1	諸外国との交流の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		総務費
	項		総務管理費
	目		国際交流費
	大事業		国際交流事業
事項		姉妹都市交流事業	

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間		～	
事業実施の根拠法令	無		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	国際交流課	沼丸 晴彦	435-1010
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
	○			
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	姉妹都市[ペイカースフィールド市（アメリカ）、リッチモンド市（カナダ）、済州市（韓国）]との国際親善、国際協力を目的とした交流事業	市民及び民間交流、青少年の国際親善交流を実施				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		リッチモンド市学生訪日団来和、済州市親善訪日団来和、済州市和歌浦ベイマラソンwithジャズ参加訪日団来和	済州市和歌浦ベイマラソンwithジャズ参加訪日団来和、ペイカースフィールド市教育訪日団来和、リッチモンド合唱団来和、韓国親善訪問団派遣	リッチモンド市学生訪日団来和、済州市親善訪日団来和、済州市和歌浦ベイマラソンwithジャズ参加訪日団来和	済州市親善訪日団来和、済州市和歌浦ベイマラソンwithジャズ参加訪日団来和、リッチモンド市学生訪問団派遣	リッチモンド市学生訪日団来和、済州市親善訪日団来和、済州市和歌浦ベイマラソンwithジャズ参加訪日団来和

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	9,093	3,738	15,309	8,451	16,755		16,755		16,755		
	伸び率 (%)	-	-	68.4%		9.4%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	4,567	6,076	6,076	7,935	6,076		6,076		6,076	
		非常勤職員	2,411	2,411	2,411	1,685	2,411		2,411		2,411	
		小計	6,978	8,487	8,487	9,620	8,487		8,487		8,487	
	国庫支出金	0	0	0	0	0		0		0		
	県支出金	0	0	0	0	0		0		0		
	市債	0	0	0	0	0		0		0		
	その他	9,093	3,738	15,309	8,451	16,755		16,755		16,755		
	一般財源（税等）	0	0	0	0	0		0		0		
	所要人数	常勤職員	0.62	0.81	0.81	1.07	0.81		0.81		0.81	
非常勤職員		0.96	1.14	1.14	0.86	1.14		1.14		1.14		
主な予算内訳		外国出張旅費3,687千円、親善交際費5,979千円、自動車借上料2,304千円等										

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	青少年国際親善交流訪問派遣回数					年度目標値	1	1	1	1	1
						実績値	1	1	1	1	
	単位	回	全体目標値	1	全体目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%			
						年度目標値					
						実績値					
成果指標	青少年国際親善交流訪問派遣人数					年度目標値	20	20	20	20	
						実績値	34	52			
	単位	人	全体目標値	20	全体目標達成度	170.0%	260.0%				
						年度目標値					
						実績値					
	単位		全体目標値		全体目標達成度						

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	○ 貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>姉妹都市提携からベिकासフィールド市（アメリカ）50年、リッチモンド市（カナダ）40年、済州市（大韓民国）25年がそれぞれ経ちました。この間これらの都市とは良好な関係を築き育んできました。この関係をさらに将来へ引き継いでいく必要があることから一定の事業を継続して行う必要があります。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>姉妹都市への公式訪問を5年に一度の周年事業とした。</p>